



DarkWeb常時監視クラウドサービス

DarkWebCheck

(ダークウェブチェック)

ドメイン情報さえあれば
DarkWebの常時監視ができます



DarkWeb常時監視クラウドサービス

DarkWebCheck

DarkWebとは



DarkWebは漏洩・搾取された情報の取引が行われているWebサイトです

DarkWebでは漏洩された企業及び個人情報や、マルウェアやランサムウェアなどの不正ツールが取引されています。攻撃の材料や手段も売買できるDarkWebは、企業や個人にとって大きな脅威となります。

DarkWeb上で公開されている情報と漏洩時の脅威



アカウント情報

組織のアカウント情報（ID、パスワード等）です。悪用された場合、なりすましによる不正アクセスが可能となり組織内の重要情報の漏洩に繋がります。また、メールアカウント情報の場合は、なりすましによる組織内情報漏洩に繋がります。



Eメール情報

組織のアカウントを利用して送受信されたメールです。メール情報が漏洩した場合は、取引先を装った悪意のある攻撃を受けたり、機密情報や顧客情報の流出に繋がります。



ドキュメント情報

PDF・図面等のドキュメント情報です。知的財産などの重要なデータが含まれている場合、競合他社が悪用して組織の競争優位性を弱体化させるなどの問題に繋がります。

顧客への
情報流出

事業の
中断

売上機会
損失

顧客への
二次被害

DarkWebでの情報漏洩を放置してしまうと
重大な問題に発展してしまうリスクがあります

DarkWebCheckとは

DarkWebの常時監視クラウドサービスです

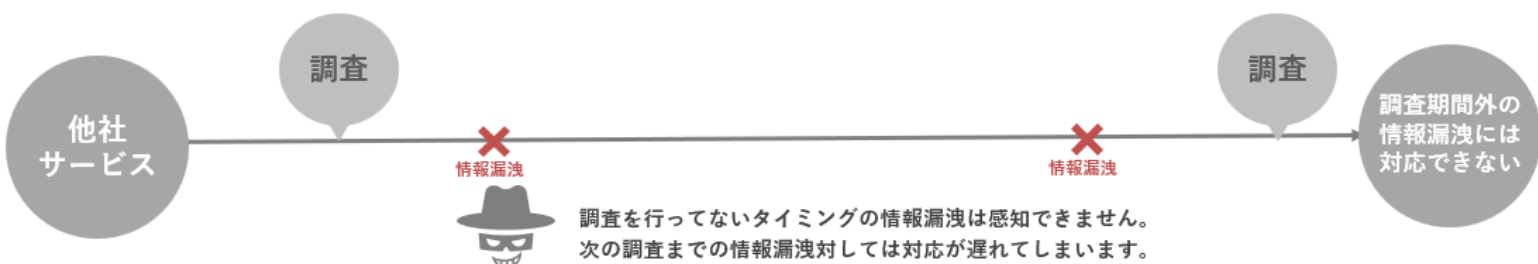
DarkWeb上の情報は常に変化します。

あなたの会社の機密情報は昨日まではなくても今日は漏洩しているかもしれません。

DarkWebCheckは常にDarkWebの監視を続けます。



- ① クラウド管理画面により情報漏洩をいつでも確認可能
- ② 漏洩状況をレポートとしていつでもダウンロード可能
- ③ 新しい情報漏洩があったら翌日にすぐ緊急メールで通知



サービス導入プロセス

1

ドメイン数、オプションを決定

調査対象ドメイン数などの決定。

2

御申し込み

弊社指定の御申込書に記載の上御申込みください。

3

クラウド管理画面で漏洩状況がすぐ分かり、新たな情報漏洩があった時は緊急メールで通知

クラウド管理画面で漏洩状況の確認とレポートのダウンロードができます。
新たな情報漏洩時には緊急メールを翌日に配信、情報漏洩に対してスピーディな対策が可能です。

4

対策策の適用

レポートを元に様々な対策を行うことが可能です。対策の進捗が把握できるチェックリストもあります。
DarkWebにある情報は日々更新されますので継続して調査をしていくことが大切です。

サービス 1. クラウド管理画面

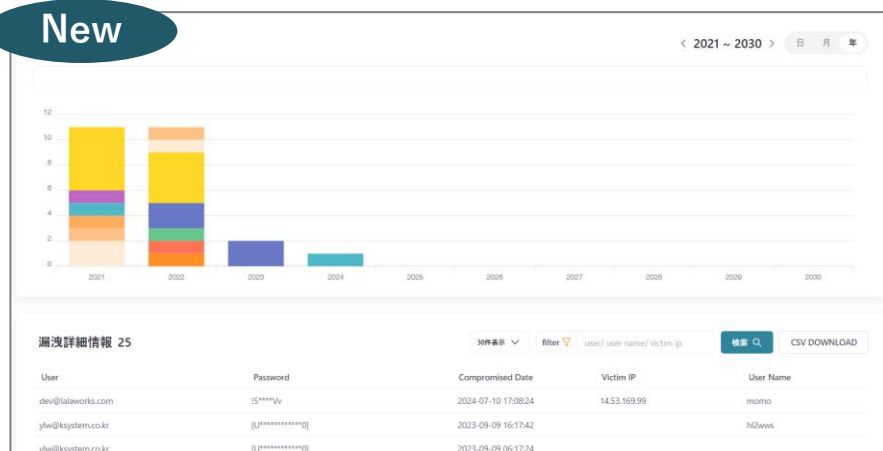


クラウド管理画面でDarkWebの情報漏洩を安全に管理できます

自社の情報漏洩のリスクスコアや世界的なマルウェア攻撃のトレンドが一目でわかります。

また、漏洩した情報に対しての対応状況のチェックリスト機能や、漏洩した文章やドキュメントも確認できます。

New



調査ドメインが含まれるURLからログイン情報が漏洩していないかの監視も可能です。

内部システムや外部委託サービスのログインページの漏洩情報や、外部向けに提供しているサービスの顧客のアカウント情報が流出していないかの把握が可能です。

※画面のデータはすべてダミーとなります。

サービス 2. レポート



漏洩状況をレポートとしていつでもダウンロードできます

今どれだけの情報漏洩があるのか、クラウド管理画面からいつでもPDFでのダウンロードも可能です。

新たな情報漏洩があった場合には
メールを利用して翌日にスピーディにお知らせします

翌日に情報漏洩がわかるので
迅速な対応により被害を最小限にできます

アカウント情報が漏洩していたら…
すぐにパスワードを変更、なりすましの被害を防ぐことが可能です。

侵害されたデバイスのIPがわかったら…
ネットワークから取り除くなどの対策が可能です。

「DarkWebCheck」情報漏洩のお知らせ

当社のDarkWebの常時監視クラウドサービスをご利用いただき、ありがとうございます。
今回、情報漏洩が確認されたことをお知らせいたします。
漏洩された内容をご確認いただき、適切な対応策を講じていただければ幸いです。
引き続き、お客様の情報セキュリティを最善で確保するために努力いたします。

リンク

<https://dashboard.darkwebcheck.jp/leaked>

ありがとうございます。

「DarkWebCheck」

自社単独でのDarkWebの調査は困難です。

スキル

Darkwebへアクセスするために必要なTorブラウザは悪性コードや不法的な要素が含まれている可能性があります。
ため、**ブラウザの設置すらリスクがあります。**
Torブラウザでアクセスしたとしても、漏洩された情報を探すことは一般的な知識では不可能で特殊なソフトウェア（以下S/W）が必要となります。

負担

自社でS/Wを購入して運用する場合、大手企業の場合S/Wライセンス費用だけで年間約1,000万円以上かかります。エンジニアの工数も加味すると最低でも**年間約2,000万円以上はかかる計算です。**

コスト

専門会社に調査を依頼する場合には、**1回あたり約80万~150万円とかなり高額な上、調査をした時点の情報漏洩しか発見できません。**
DarkWebCheckは、**1度のご購入で契約期間中の情報漏洩を常に監視できます。**

サービス形態

プラン	内容
基本プラン	クラウド管理画面、ドメイン1個、 キーワード分類5個※
オプション	ドメイン追加
	キーワード分類追加

**1ドメインからお申込み可能です。
オプションを利用して様々な調査
が可能です。**

調べたい情報量に応じてフレキシブルにプラン
が組めます。必要な分だけお支払いなので無駄
がありません。

できるだけコストをかけずに情報漏洩を調査したい

基本プラン

自社で5個のドメインを持っているため、すべてのドメインを調べたい

基本プラン+4ドメイン追加

※キーワード分類は漏洩したドキュメントやEメール
をキーワードでフィタリングして表示する機能です。
※基本プランのキーワード分類や、オプションのキ
ーワード分類はお申込みいただいたすべてのドメインで
表示されます。

開発元

JSecurity

株式会社 JSecurity

東京都港区浜松町2-4-1 世界貿易センタービルディング 南館17階

TEL: 03-4567-2823 FAX:03-4567-2824

E-mail : sales@jsecurity.co.jp

URL : <https://www.jsecurity.co.jp>

